



孔子を奉る祭典用の楽器—祝、
形は四角く上が広く下はすば
まっており、木槌で叩いて音
を出す。



孔子を奉る祭典用の楽器—特磬

孔子廟は、一般の仏教寺院や民間信仰の廟とは異なり、多くの神像や仏像を奉ってはいません。孔子自身も、怪力乱神を語らずと言われているくらいですから、孔子廟の内部には字を書いた位牌を奉るだけです。孔子廟が静粛で荘厳な印象を与えるのも、中国の儒教文化の正統性を重んじる精神から来ています。孔子廟には多くの神像や祭具が置かれているわけではありませんが、古式に則って製作された礼器と楽器は少なくありません。毎年九月二八日の孔子生誕の祭典にはこれらが使用されます。

儀門に置かれる鑪鼓と晋鼓、大成殿前の丹墀に置かれる編鐘、編磬と特鐘、特磬とは、それぞれ異なる音色を響かせます。大成殿の前には、また祝（しゆく）、敬（ぎよ）、琴、瑟（しつ）、搏拊（はくふ）、鼗鼓（とうこ）及び塤（けん）などの古い楽器が並びます。祝は箱型の楽器で形は四角く上が広く下はすばまっており、叩いて音を出します。敬は木彫りで作られ、形は伏した虎に似ていますが、背中に凹凸の齟齬があり、これをこすって音を出します。搏拊は小型の鼓で、手で叩き拍子を取ります。鼗鼓も一種の鼓で、下に把手があつてゆすると、両脇のふりがぶつかって音が出ます。塤は、上が尖ってそこが

孔子を奉る祭典用の楽器「敔、木彫りで作られ、形は伏した虎に似ているが、背中に凹凸の齒、鼯鼯がある。もう一つは小さい鼓の一種で、搏拊と称し手で叩いて音を出す。



孔子を奉る祭典用の楽器「編鐘、金属の鐘物であるが、合計十六枚を上下に分けて横木に吊す。一枚毎に大きさが異なり、異なった高さの音が出せる。



孔子を奉る祭典用の楽器「編磬、玉石で作られ、合計十六枚を上下に分けて横木に吊す。一枚毎に大きさが異なり、異なった高さの音が出せる。



平たい形の丸い磁器の楽器で、表面に穴が開いていて、そこから息を吹き付けて音を出します。

また、編鐘は金属の鐘物で十六あり、上下二段にして吊しますが、それぞれ大きさが異なっており、これを叩くと高さのちがう音が出ます。編磬は、玉石でできた曲がった板で十六あり、これも上下二段して吊しますが、大きさにより叩くと高さのちがう音が出ます。

礼器は種類が非常に多く、龍杆・灯・炉・鉞・斧・扇・繖・罇・爵それに福胙盤などがあり、祭典の時にはそれぞれの礼器の使用は音楽に合わせて行なわれ、しかも礼器を捧げ持つ役の礼生は、五歩毎に立ち止り、高く持ち上げます。孔子を祭る祭典は、国家の重要な儀式で、詳細まできわめて荘重に行なわれるものです。

台北市孔子廟では、毎年九月二八日に厳肅に孔子生誕念の祭典を取り行ない、市長が正献官、民生局長が糾儀官となって儀式を主宰します。参加者は、夜暗いうちから決まった位置につき、整然と秩序だつて進行されます。中国伝統の孔子の祭典に共に参加し、荘嚴な雰囲気味わうのも、孔子廟の一年に一度の盛事です。

孔子生誕記念の祭典では、
大成殿の前の円壩
において六佾の舞が行われる。



台北市孔廟

發行者：陳哲男

出版者：台北市孔廟管理委員會

住 所：台北市大龍街275号

著 者：李乾朗

翻 訳：久保恵子

デザイン：李男工作室

印 刷：中華彩色印刷股份有限公司

1996年6月四版